

# PANAC-12W

計算式どおりの操作で24桁まで計算できます。



ナショナル  
電子式卓上計算機

ピタゴラス

# このキーがこのランプが「秒速計算」をもたらす

## 表示レジスター

置数された数字や演算結果はすべてここに表示されます。その桁数は24と圧倒的。数字も最も見やすい線で作られています。

## OVF オーバーフロー・ランプ

置数された数字や演算結果が25桁以上になると、このランプが点灯。それ以上の置数や演算ができないことを示します。

## マイナス表示ランプ

目キーを押した時や演算結果がマイナスになった時に、このランプが点灯します。

## ロング・ランプ

置数された数字が13桁以上になると、このランプが点灯します。

## 電源スイッチ

電源コードを電灯線のコンセントにつないでこのスイッチを押すと電源が入ります。電源が入るとロー・ランプが点灯し、表示レジスターの1桁目に0が表示されます。電源を切る時は、再度このスイッチを押してください。

## P ポイント・キー (小数点設定キー)

このキーと置数キーで小数点位置を決めます。まずこのキーを押し、次に計算に必要な小数点桁数(0~9)を置数キーでセットします。セットしたらもう一度このキーを押してください。なお小数点位置はかならず計算の始めにセットしてください。計算の途中で小数点位置を変えると正しい答が得られません。

## マイナス置数キー

マイナス数値を置数する時は、このキーを押してから置数します。キーを押すとマイナス表示ランプが点灯します。

## CE クリヤー・エントリー・キー (置数消去)

置数キーを押し間違えた時このキーを押すと表示レジスターに現われている数字だけクリヤー(消去)します。

## MI メモリー・イン・キー

表示レジスターに現われている数値を記憶させておきたい場合、このキーを押すとメモリーに残ります。

## C クリヤー・キー

表示レジスターの数字をクリヤー(消去)する場合に使います。このキーを押すと小数点以下の0数字だけが残り、表示レジスターの数字はすべてクリヤーされます。が、メモリーとシグマ・レジスターに記憶されている数値はクリヤーされません。



## 計算のしかた

	数式	キー操作順序	表示	
四則計算	加算	$42+264=$	$42\text{[+]}264\text{[=]}$	306
	減算	$8.5-3.25=$	$\text{[P] } 2\text{[P] } 8.5\text{[-]}3.25\text{[=]}$	5.25
	乗算	$82\times 9=$	$82\text{[x]}9\text{[=]}$	738
	除算	$52.1\div 9=$	$\text{[P] } 3\text{[P] } 52.1\text{[÷]}9\text{[=]}$	5.788
積和計算	$(5.8\times 2.1)+(12\times 3)+ (1.8\times 2.3)=$	$\text{[P] } 2\text{[P] } 5.8\text{[x]}2.1\text{[=] } 12\text{[x]}3\text{[=] } 1.8\text{[x]}2.3\text{[=Σ]}$	52.32	
商差計算	$(10.5\div 2)-(50\div 7)=$	$\text{[P] } 3\text{[P] } 10.5\text{[÷]}2\text{[=] } 50\text{[÷]}7\text{[=Σ]}$	-1.892(※)	
和積計算	$(2+3)\times (4+5)=$	$2\text{[+]}3\text{[=] } 4\text{[+]}5\text{[=] } \text{[x] } \text{[=]}$	45	
差商計算	$(23-18)\div (36-29)=$	$\text{[P] } 3\text{[P] } 36\text{[-]}29\text{[=] } 23\text{[-]}18\text{[÷] } \text{[=]}$	0.714	



# たらず。使いやすさは練習4分でわかります。



## ▲ アッパー・ランプ

表示レジスターの数字が13桁以上の時は、このランプが点灯しています。

## ▼ ロワー・ランプ

表示レジスターの数字が1～12桁までの時はこのランプが点灯しています。

## 1-0 置数キー

任意のキーを押すと、その数値が表示レジスターに現われます。置数は24桁までOK。表示切換キーの操作により12桁づつ表示レジスターに現われます。

## Σ シグマ・キー

目キーで得られる演算結果の総合計を知りたい場合に使います。

計算を始める前にこのキーを押しておく、目キーで得られた演算結果をすべて加算し、もう一度押すとその合計が表示レジスターに現われます。また、計算途中の小計を知りたい場合は、その時点で押すと、そこまでの合計が表示レジスターに現われます。再度シグマキーを押し、目キーを押しておく、そのまま総加算されます。ただし、計算を始める前に押さないで、計算の途中で押した場合は、その押した所の計算から合計されます。

## MO メモリーアウト・キー

メモリー・インした数値を呼び出す時に使います。このキーを押すとメモリーされている数値が表示レジスターに現われます。必要に応じて何回も呼び出すことができます。

## ↓ 表示切換キー

表示レジスターの数値が13桁以上になった場合は、このキーを操作しながら読み取ります。数値が13桁以上になりますとロング・ランプが点灯します。その場合このキーを押すと、アッパー・ランプが点灯すると同時に13桁以上の数値が表示レジスターに現われ、もう一度押すとローワー・ランプが点灯して1～12桁までの数値が現われます。

また 演算結果が13桁以上になった時は、アッパー・ランプが点灯して13桁以上の数値が現われますので、1～12桁までの数値はこのキーを押して読み取ります。

## × ÷ + - = 演算キー

それぞれ乗算・除算・加算・減算を指示する場合に使い、最後に目キーを押すと演算結果が得られます。

## □ 小数点キー

小数点が含まれている数値を置数する時に使います。小数点以下の数字を置数するとき、このキーを押してから置数してください。

正価 198,000円

	数式	キー操作順序	表示
混合計算	$\{(5+3-2) \times 6\} \div \{(6-3+2) \times 3\} =$	$\text{P}3\text{P}6\text{=}\text{3}\text{+}\text{2}\text{X}\text{3}\text{=}\text{M}\text{5}\text{+}\text{3}\text{=}\text{2}\text{X}\text{6}\text{=}\text{M}\text{=}$	2.400
累乗(べき)計算	$12^2$	$12\text{X}\text{=}$	144
応用計算	計算式		
利息計算	元金70,000円を90日預かり、日歩2 鈔5厘の利息として元利合計を求める。 70,000 $\{1 + (\frac{0.025}{100} \times 90)\} =$	$\text{P}4\text{P}0.025\text{X}90\text{=}\text{100}\text{+}\text{1}\text{X}70,000\text{=}$	71,575
高次多項式計算	$Y = 4X^4 + 5X^3 - 6X^2 + X - 5$ X = 5の時のYの値を求める。 (原形変形) 上記の原式を次のように変形する。 $Y = \{(4X+5)X - 6\}X + 1\}X - 5$ $Y = \{ \{ (4X+5)X - 6 \} \times \text{M} + 1 \} \times \text{M} - 5$	$5\text{M}\text{X}4\text{+}\text{M}\text{X}\text{M}\text{=}\text{6}\text{X}\text{M}\text{+}\text{1}\text{X}\text{M}\text{=}\text{M}\text{=}$	2975

# あらゆる計算ミスを追放。もっとも進んだ計算機です。

## 24桁。パナックだけの豊かな演算桁数

このタイプの計算機では始めて。大型時代にマッチした豊富な演算桁数。とてつもない計算でもラクにこなします。

## 操作は計算式どおり。簡単です

めんどろな操作や約束ごとが必要ありません。はじめての人でも簡単に正確に使いこなせます。その使いやすさは練習4分で判ります。

## オーバーフローしても、ひと目でわかる

まんいち数字が24桁を越えたとき、ランプで警告します。キメ細かな配慮のひとつです。

## 不要の0はすべて消える

置数された数値以外の0はすべて表示されません。見やすく誤読がありません。転記のさい間違いがありません。

## 連続計算できる自動クリヤー方式

計算のたびにクリヤーを必要としません。画期的なオート・クリヤー方式。高速計算に欠かせない新しいメカニズムです。

## 計算がマイナスになってもひと目でわかる

0キーを押した時や演算結果がマイナスになった時、ひと目でわかるランプで点灯。読みちがいを追放しました。

## 小数点の位どりもワンタッチです

キーを押すだけで0～9桁まで小数点が指定できる指定自動方式。計算のたびにセットする必要もありません。

## 記憶装置つき。操作もスムーズです

定数計算や混合計算などの表示数値を記憶。しかも記憶した数値をよび出します。

## スマートな把手つき。持ち運びがラクです

ボディにスッポリ組み込まれる、機能的なデザインの把手です。どこへでも手軽に気軽に持ち運びができます。

## 流線形のモダンなニュースタイルです

レーシングカーを思わせるフォルム。高速時代にふさわしい新感覚のデザインです。保管にも便利なカバーがついています。

## ■定 格

キー=テンキー方式

表示桁数=最大12桁

演算桁数=最大24桁<12桁、上・下切換方式>

小数点表示方式=指定自動小数点方式

小数点桁数=最大9桁

演算機能=四則計算 積和差 商和差 定数計算 ベキ計算  
連乗 連除 各種混合計算

演算速度=加減算約0.003秒 乗算約0.15秒 除算約0.15秒

演算素子=IC 150個 ダイオード 46個

メモリー=1個

使用温度=0～40℃

電源電圧=A C 85～110V 50/60Hz

消費電力=20W

寸法重量=幅326mm 高さ114mm 奥行365mm 約6kg



製造元 松下通信工業株式会社/電卓事業部

横浜市港北区綱島町880(〒222)

TEL 045-531-1231

お問い合わせは

松下通信